

③ むかしからある行事ぎょうじ

「郡山市には、どんなお祭りまつがありますか。」と先生がたずねられました。

「8月に、うねめまつりがあります。」

「秋になると、ほう作をいわう秋まつりがあるって、たくさんのお店がならんでいるわ。」

「お正月に、七日堂なの か どうまいりに行って、けんこうで、すごせますようにと、おいのりをしたわ。」



うねめ

とおいむかしのころ、奈良ならの都みやこから、かつらぎ王という人が安積あさかの地方をたずね、きびしいぜい金をさいそくしたので、役人やくにんはたいへんこまりました。そのとき、美しい春ひめがすすみでて、歌をよんで王をもてなしました。

王はひめを都へつれてかえり、うねめという女かんじょの役やくをつとめさせました。ひめはふるさどがこいしくなると、こっそりかえってみると、おっとはすでになくなっていました。あまりのかなしさに、池に身をなげてしまいました。



うねめ祭り



七日堂なの か どうまいり